

平成 29 年度

全国学力・学習状況調査の 結果について



平成 29 年 12 月
海老名市立海老名小学校

目次

全国学力・学習状況調査について	P. 1
「国語に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 2
「算数に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 3
「児童質問紙の結果より」と「今後の具体的な取組」	P. 4
ご家庭で取り組んでいただきたいこと	P. 5



資料 学習・生活習慣と学力との関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。
海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
(教科に関する調査、児童・生徒質問紙調査より)

【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【学 校 生 活】

- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【基本的生活習慣】

- ・朝食を毎日食べる
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【社会に対する興味・関心】

- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・新聞を読んでいる
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で計画を立てて学習をする
- ・学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【家庭でのコミュニケーション】

- ・家の人と学校での出来事について話をする
- ・家からは、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【自尊感情・規範意識】

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・学校のきまり、規則を守っている
- ・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【基本的生活習慣】

- ・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、平成19年度に始まった全国一斉の調査です。平成22～24年度は抽出調査(平成23年度は震災の関係で実施を中止)でしたが平成25年度から再び、全国すべての小中学校が対象となりました。

◆ 調査の目的

- (1) 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

◆ 調査の対象

- 国・公・私立学校の以下の学年、原則として全児童生徒
- ・ 小学校第6学年
 - ・ 中学校第3学年

◆ 調査内容

- (1) 教科に関する調査

【小学校】

- 国語A・算数A (主として「知識」に関する問題)
国語B・算数B (主として「活用」に関する問題)

【中学校】

- 国語A・数学A (主として「知識」に関する問題)
国語B・数学B (主として「活用」に関する問題)

「主として『知識』に関する問題」とは？

これからの学習や生活をしていく上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力を調査する問題

「主として『活用』に関する問題」とは？

身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題

- (2) 児童生徒に対する質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問

- (3) 学校に対する質問紙調査

指導方法や取組、人的・物的な教育条件の整備の状況等

◆ 調査実施日

平成29年4月18日(火)

海老名市の結果は
こちらから



国語に関する調査結果

国語 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

- 基本的な知識について、概ね理解しています。
- ことわざの意味を理解し、自分の表現に用いることができています。
- 古文における言葉の響きやリズムを捉えながら読むことができています。
- 目的に応じて、文章の中から必要な情報を見つけて読むことができています。

《努力を要する所》

- 文や文章の中で、日常的にあまり使わない既習の漢字を正しく書くことにやや課題があります。
- 手紙の書き方では、後付けなど基本的な形式の理解にやや課題があります。

国語 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

- 目的や意図に応じて、文章全体の構成を考えたり、文中の言葉を引用してまとめたりすることができています。
- 物語を読み、登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉えることができています。

《努力を要する所》

- 自分の考えを目的や意図に応じて、簡潔にまとめて書くことに課題があります。
- 話の構成や内容を工夫し、場に応じた適切な言葉遣いで自分の考えを話すことにやや課題があります。

これまでの取組から

- 低学年からの音読指導の積み重ねにより、言葉のまとまりやリズムが捉えられ、語彙力を豊かにすることにつながっています。
- 物語に描かれた行動や会話など複数の叙述を関連づけて読む指導を重ねたことにより、登場人物の相互関係や心情などの描写を捉える力が備わってきています。引き続き指導を積み重ねていきます。

今後の具体的な取組について

- 自分の考えを分かりやすく説明したり、場に応じた言葉遣いで会話をしたりする活動を多く取り入れ、表現力を高めていきます。
- 国語の学習と他教科の学習を互いに生かし、手紙の基本的な書き方が定着していくように指導していきます。



算数に関する調査結果

算 数 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

- 算数全般において基本的な知識を概ね理解しており、正答率も高いです。
- 四則計算が、正確に答えることができます。
- 問題場面を的確に捉え、数量の関係を図や数直線等に表すことができます。
- 平行四辺形と三角形の面積の求め方は、図形の性質とともに理解しています。
- 目的に応じて資料を分類整理し、特徴を調べることに優れています。

《努力を要する所》

- 未知の数量を表す口を用いて、問題場면을式に表すことにやや課題があります。

算 数 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

- 目的に応じて、複数の情報の中から必要なことを選択し、問題解決の方法を数学的に表現することができています。
- 示された条件を基にして、適切な式を立てることに優れています。
- 飛び離れた数値を除いた場合の平均の求め方を理解することができています。

《努力を要する所》

- 日常生活の事象を、表やグラフの特徴を基に考察したり、表現したりすることに課題があります。
- 身近なものに置き換えた基準量と割合を基に、比較量を判断することに課題があります。

これまでの取組から

- 四則計算等、基本的な知識・技能の繰り返しの学習を継続してきたことが、学習内容の定着につながっています。
- 主体的な学習を目指して校内研究として取り組んできたことが、学習の中で児童が筋道立てて考え説明し、互いに深めていく力につながっています。

今後の具体的な取組について

- 学習内容を既習事項や日常生活と関連づけて考えたり具体物を提示したりしながら、問題場면을イメージして解決できるように、今後も指導を工夫していきます。
- 自分の考えの根拠を明確にし、分かりやすく書いたり説明をしたりする学習を他教科等でもさらに進めていきます。



児童質問紙の結果より

学習について

《よかった所》

- 「学校に行くのが楽しい」と答える児童が全国平均より高く、学級みんなで協力してやり遂げることに喜びを感じています。
- ほとんどの児童が家庭学習（含・宿題や学習塾等）をし、授業の予習もしています。また、土日など学校の休みの日にも学習に取り組んでいます。
- 読書が好きな児童は約8割で全国平均より高いです。また、日常生活で30分以上読書をする児童は5割に達しています。
- 算数では、新しい問題に出合った時、それを解いてみたいと思う児童が多く、また解き方がわからない時も諦めずにいろんな方法で考えることができています。

《課題と思われる所》

- 自分の考えを説明したり文章に書いたりすることに苦手意識を持っている児童が見られます。

生活について

《よかった所》

- 多くの児童が毎日朝食をとり、規則正しい生活を送っています。
- 平日のテレビやゲームをする時間が1時間未満の児童の割合が高いです。
- 携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っている割合が全国平均より高いです。
- 新聞を読んだりテレビやインターネットのニュースを見たりする割合が全国平均より高く、地域や社会で起きている問題や出来事に関心があります。
- 学校のきまりや友だちとの約束を守ることが意識して生活している児童が多いです。

《課題と思われる所》

- 地域の行事に参加している、地域や社会のボランティア活動に参加したことがあると答えた児童の割合が、全国平均より低い傾向にあります。

これまでの取組から

- 「挨拶運動」や「えびなっ子の約束」等をもとに、保護者・地域の方々の協力を得て進めてきたことが、基本的生活習慣の定着や規範意識の高まりにつながっています。今後も引き続き進めていきます。
- 学校図書館支援員との連携を深める等、読書活動を推し進めたことが、読書への関心の高まりや活発な図書館利用へとつながっていると考えます。今後も引き続き進めていきます。

今後の具体的な取組について

- 児童一人ひとりの努力の過程を大切に、認め・褒め・励ましを行うことで、今後も前向きな心で生活できるよう支援していきます。
- 「総合的な学習の時間」・「生活科」や「特別の教科道徳」等を通して、地域社会の所属意識を高め、地域行事への参加を積極的に促していきます。



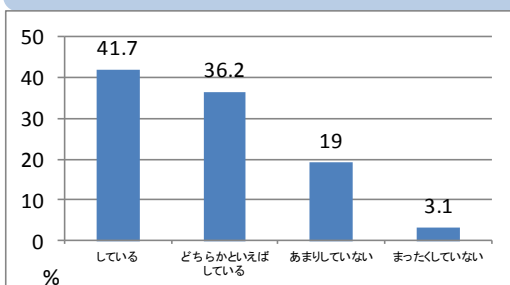
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成29年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい6つの項目」をまとめました。できることから、ぜひ、始めてみてください。

1 「早寝・早起き・朝ごはん」を続けましょう。

「早寝・早起き・朝ごはん」等、規則正しい生活習慣は、学習意欲・体力・気力の向上につながります。

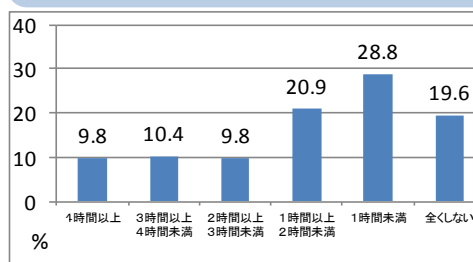
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。



2 時間の使い方を話し合い、ルールを決めましょう。

長時間のゲームは生活リズムの乱れにつながります。時間の使い方を見直し、ルールを決めましょう。

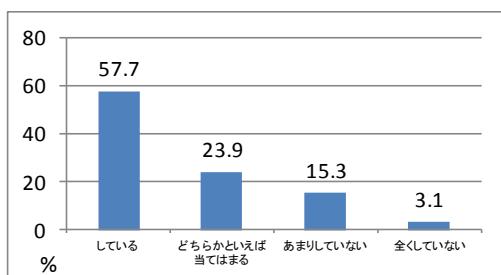
普段一日どれくらいの時間ゲームをしますか。



3 家族との会話を大切にしてください。

家庭で、何でも相談でき、話し合える関係が、心の安定と成長につながります。

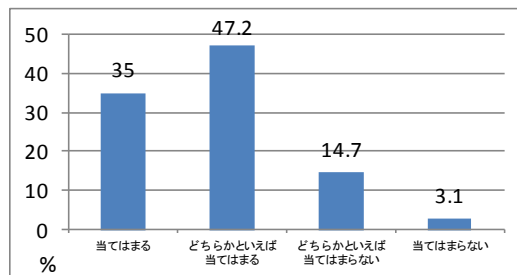
家の人(兄弟姉妹は含みません)と学校での出来事について話をしますか。



4 努力する気持ち・挑戦する気持ちを大切にしましょう。

挑戦することで可能性が広がっていきます。失敗を恐れずに取り組んでみましょう。

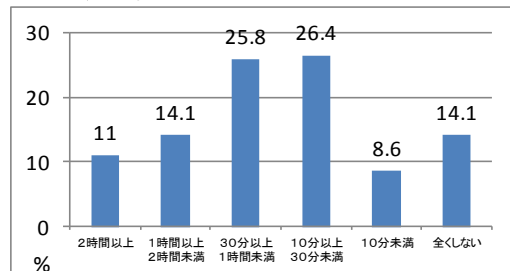
難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか。



5 本に親しみましょう。読書は心の栄養です。

読書は、豊かな心と感性を育み、考える力や表現力、想像力を伸ばします。

授業以外に、普段どれくらいの時間、読書を行いますか。



6 地域の方々とのつながりを大切にしましょう。

子どもたちは地域の中で育ちます。地域の行事に参加し、交流の輪を広げていきましょう。

今住んでいる地域の行事に参加していますか。

